

地元の子どもたちが書いた 橋名板を取り付けました



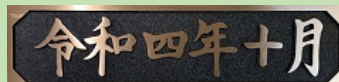
内部小学校児童が書いた橋名板



内部東小学校児童が書いた橋名板



内部中学校生徒が書いた橋名板



令和4年10月5日に、県道四日市鈴鹿環状線(四日市市采女町)において建設中の内部川を渡る橋(采女大橋)に地元の小中学生が書いた橋名板を設置する式典が地元自治会の主催により開催されました。

当日は、約30名に参加いただき、橋名板のお披露目、記念品(橋名板のレプリカ)の授与及び親柱に橋名板を取付け記念撮影を行いました。

橋名板を持ってみたり、報道の取材を受けたりと普段できないようなことを経験でき、児童生徒にとっても良い思い出になったのではないのでしょうか。

采女大橋は令和6年度に供用できるよう周辺の工事を進めています。通行できるのはまだ先になりますが、通行した際は、この日のことを思い出していただければ幸いです。

